



プレスリリースのご案内

平素より本会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、66 回学術集会開催時に下記についてプレスリリースをさせていただきたく、ご案内を送らせていただきます。

1. ご挨拶：神崎 恒一
2. 第 66 回日本老年医学会学術集会のトピックス：荒井 秀典
3. 「CGA ガイドライン」について：秋下 雅弘
4. 「高齢者の定義」について：荒井 秀典
5. 「第 2 次 5 か年計画」について：神崎 恒一
6. 質疑応答

詳細は次ページ参照

【日時】 2024 年 6 月 13 日（木）18:00～19:10

【方式】 ハイブリッド開催

（現地会場（ウインクあいち）と Zoom を使用しての Live 配信）

※ 参加申し込み

下記 URL あるいは、QR コードより参加申し込みを行ってください。

参加受付後、必要な情報をお送りします。



申し込み締切: 2024 年 6 月 5 日(水)

<https://forms.gle/8r4QzxR6g8EzXT7V9>

【お問合せ】

第 66 回日本老年医学会学術集会 運営事務局

TEL: 052-950-3430

E-mail : 66jgs2024@congre.co.jp

日本老年医学会「高齢者総合的機能評価（CGA）に基づく診療・ケアガイドライン 2024」について



高齢者医療には、CGA による包括的・全人的な評価と、それに基づいて個別化された診療とケアの推進が不可欠である。

長寿医療研究開発費研究班と日本老年医学会、国立長寿医療研究センターの合同により、21 年振りとなる CGA に関するガイドライン策定を行ったので、その経緯と概要について解説する。

日本老年学会「高齢者の定義」について



日本老年学会においては、各構成学会と協力して、高齢者の定義についての報告書の改訂版を発表する。2017 年、日本老年学会、日本老年医学会より、高齢者の定義検討ワーキンググループからの報告が発出され、65 歳から 74 歳までを准高齢者、75 歳以上を高齢者とすることが提案された。少子高齢化の進行、働き方改革などで我々を取り巻く環境は刻々と変化している中、我が国が世界一の高齢化率を誇る国として健康長寿社会のさらなる発展を目指す必要がある。そのような環境の中で、自身の体力に鑑みながら、年齢を気にせずにつまでも働き続けることができるエイジフリーの社会を追求することも重要である。今回我々は高齢者の定義についての提言が風化することがないように新たな科学的な知見も織り交ぜて、再度この問題を世に問いたいと思っている。

日本老年医学会「日本老年医学会 第二次 5 か年計画」について



日本老年医学会は 2018 年に策定した第一次 5 か年計画に続いて、今年、第二次 5 か年計画を策定した。今回の計画では「老年医学・高齢者医療の普及・啓発」、「フレイル予防・対策による健康長寿の達成」、「認知症への効果的な早期介入と社会的施策の推進」、「基礎老化研究の育成・支援」については内容を一部修正して活動を継続して行うこととし、新たに今回発表する「高齢者の定義」を踏まえて、“高齢者の定義に関する活動の推進ならびに国民との対話”と、今回新機軸である“老年医学とジェロントロジーの融合”を合わせて「エイジフリー社会を目指した調査研究とその実現に向けた取り組み」を新たな活動目標に定めた。その他、今後 5 年間の日本老年医学会の活動指針を発表する。